



SENDAI UNIV.

工業会日本万引防止システム協会
令和4年度講演会

防犯システムと人的警備の融合

仙台大学准教授 田中 智仁

2022年6月2日(木)

於 主婦会館



SENDAI UNIV.

自己紹介

田中 智仁(たなか ともひと)

- ・東京都出身、年齢は秘密(“老顔”です)
- ・専門は犯罪社会学、警備保障論

博士(社会学)、専門社会調査士、認定心理士

- ・学業・研究と並行して警備会社に10年間勤務
- ・2011年、仙台大学に「現代武道学科」開設
武道の応用による警備・警護教育を展開
→民間警備分野担当の教員になる
- ※2022年より現代武道学科長



SENDAI UNIV.

本日の内容

1. 警戒線の考え方
2. 防犯の基礎理論
3. 「防犯システムと人的警備の融合」の理論化
4. 人材育成の方向性
5. まとめと今後の課題



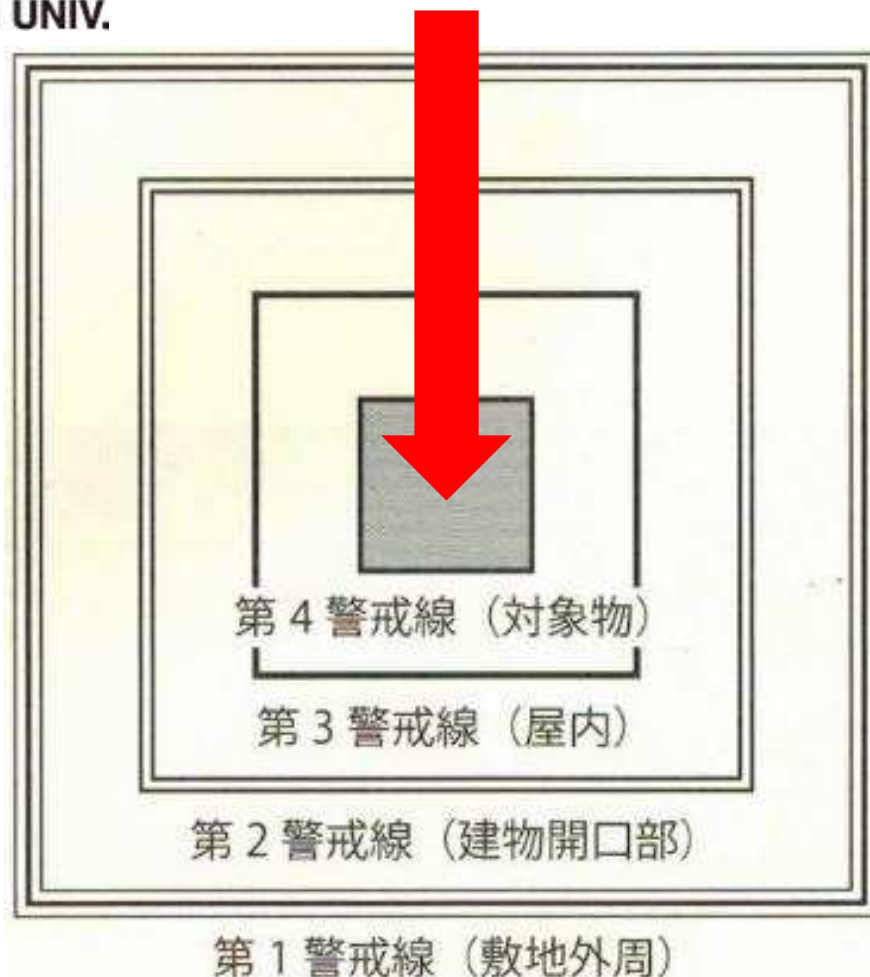
SENDAI UNIV.

1. 警戒線の考え方



SENDAI UNIV.

4つの警戒線～警備業務区分に従う考え方～



第1警戒線
第2警戒線
第3警戒線 } 1号警備業務

第4警戒線 → 4号警備業務

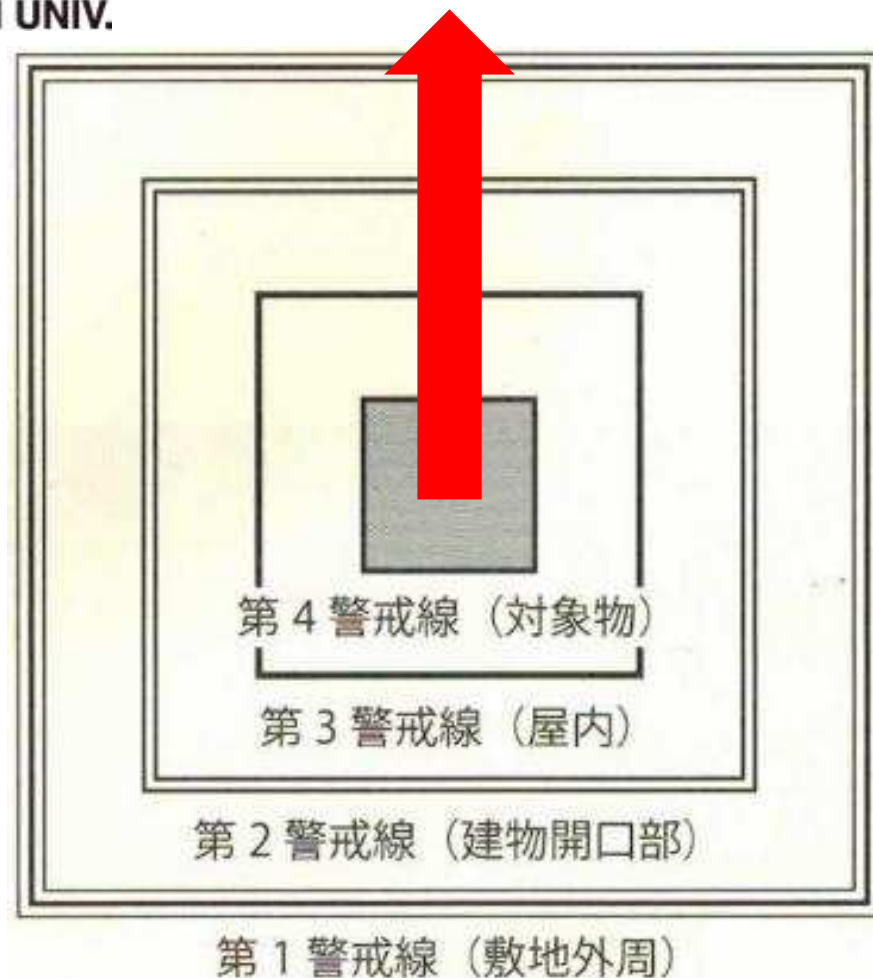
※侵入者は「**第1**→**第4**」の順に警戒線を突破していく

(出典) NPO法人警備人材育成センター『教本施設警備業務2級』:70頁



SENDAI UNIV.

4つの警戒線～保安警備の現認の考え方～



(出典) NPO法人警備人材育成センター『教本施設警備業務2級』:70頁

《万引きの場合》

1. 商品を着手・隠匿

→第4警戒線(対象物)が
手中に収められる

2. 未清算のまま店外または
敷地外へ持ち出される

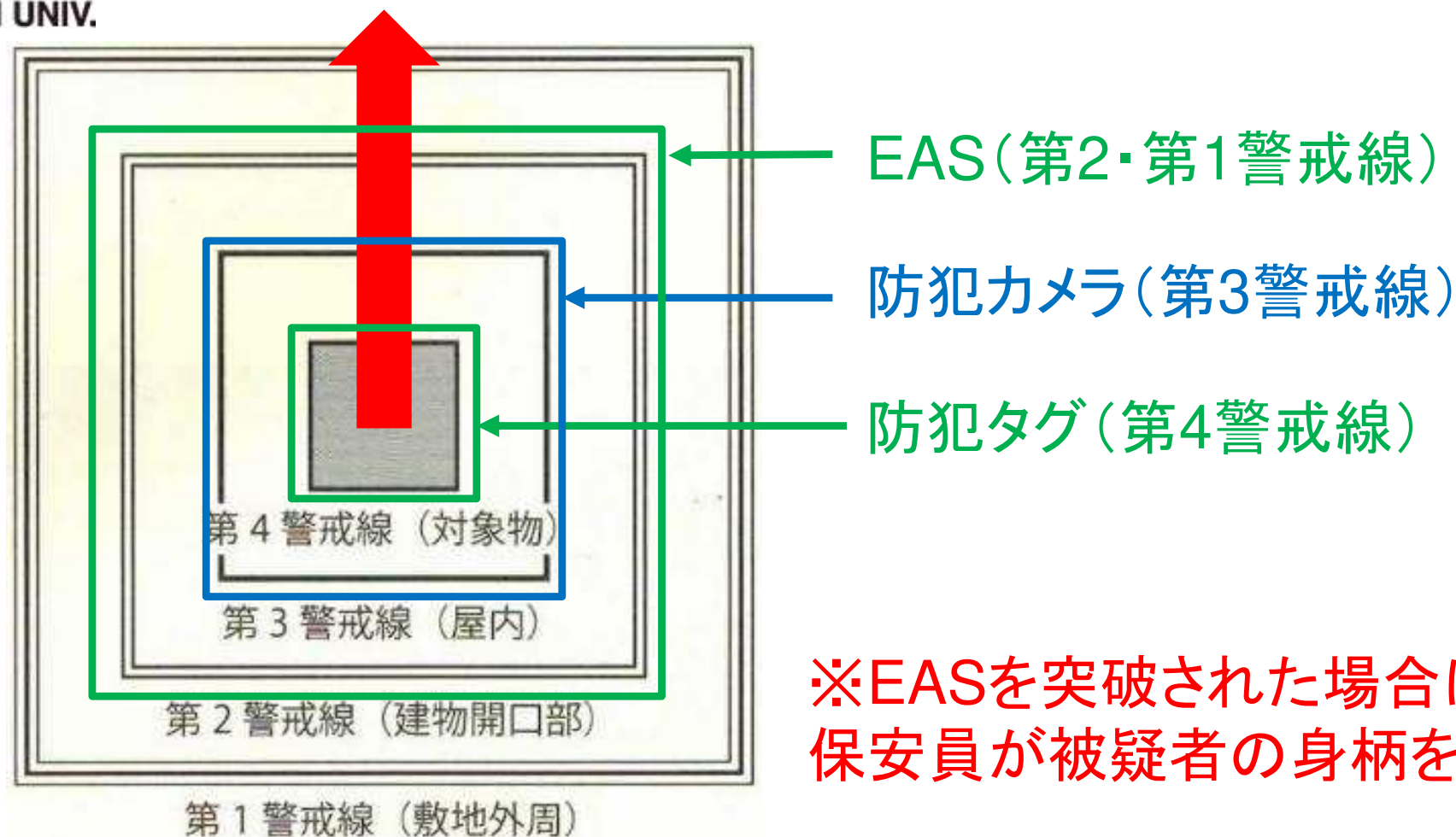
→第1または第2警戒線を出るまで声掛けできない

※被疑者は「**第4→第1**」の
順に警戒線を突破していく



SENDAI UNIV.

4つの警戒線～EASの考え方～



※EASを突破された場合は、
保安員が被疑者の身柄を捕捉

(出典) NPO法人警備人材育成センター『教本施設警備業務2級』:70頁



SENDAI UNIV.

発想が真逆になっている

《施設警備・機械警備・ 身辺警備の場合》

- ・施設内に侵入させない
- ・施設内の対象物に手を
触れさせない

防犯の基礎理論で
説明できるのか？

《保安警備・EASの場合》

- ・施設内に進入(入店)する
- ・施設内の対象物(商品)に
手を触れさせる
- ・未清算の持ち出しを防ぐ
- ・被疑者の身柄を捕捉する



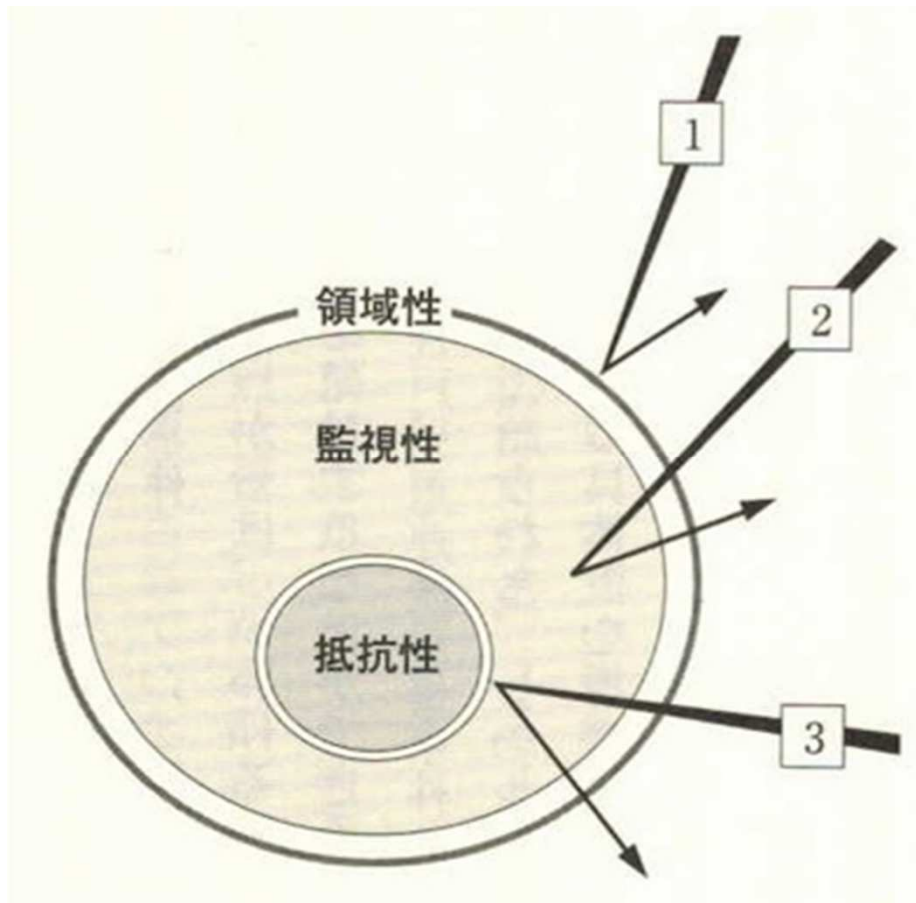
SENDAI UNIV.

2. 防犯の基礎理論



SENDAI UNIV.

防犯の3要素



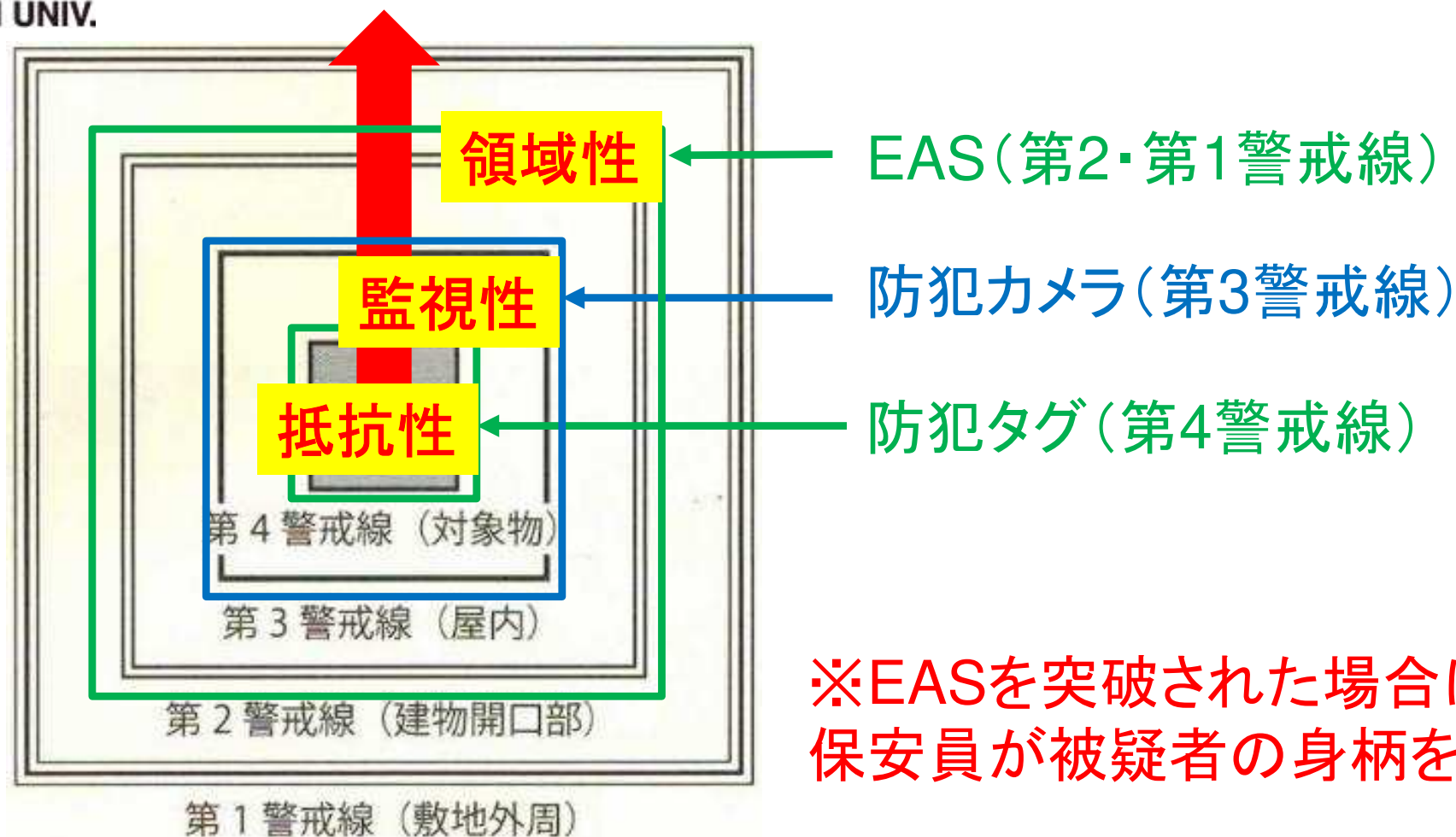
- EASは「領域性」と「抵抗性」の強化に資する
- 人的警備は「監視性」の強化に資する
- 防犯カメラも「監視性」の強化に資する
→目視やウェアラブルカメラ使用の場合も同じ

(出典)小宮信夫『犯罪は「この場所」で起こる』光文社新書、2005年



SENDAI UNIV.

4つの警戒線＋防犯の3要素



※EASを突破された場合は、
保安員が被疑者の身柄を捕捉

（出典）NPO法人警備人材育成センター『教本施設警備業務2級』:70頁



SENDAI UNIV.

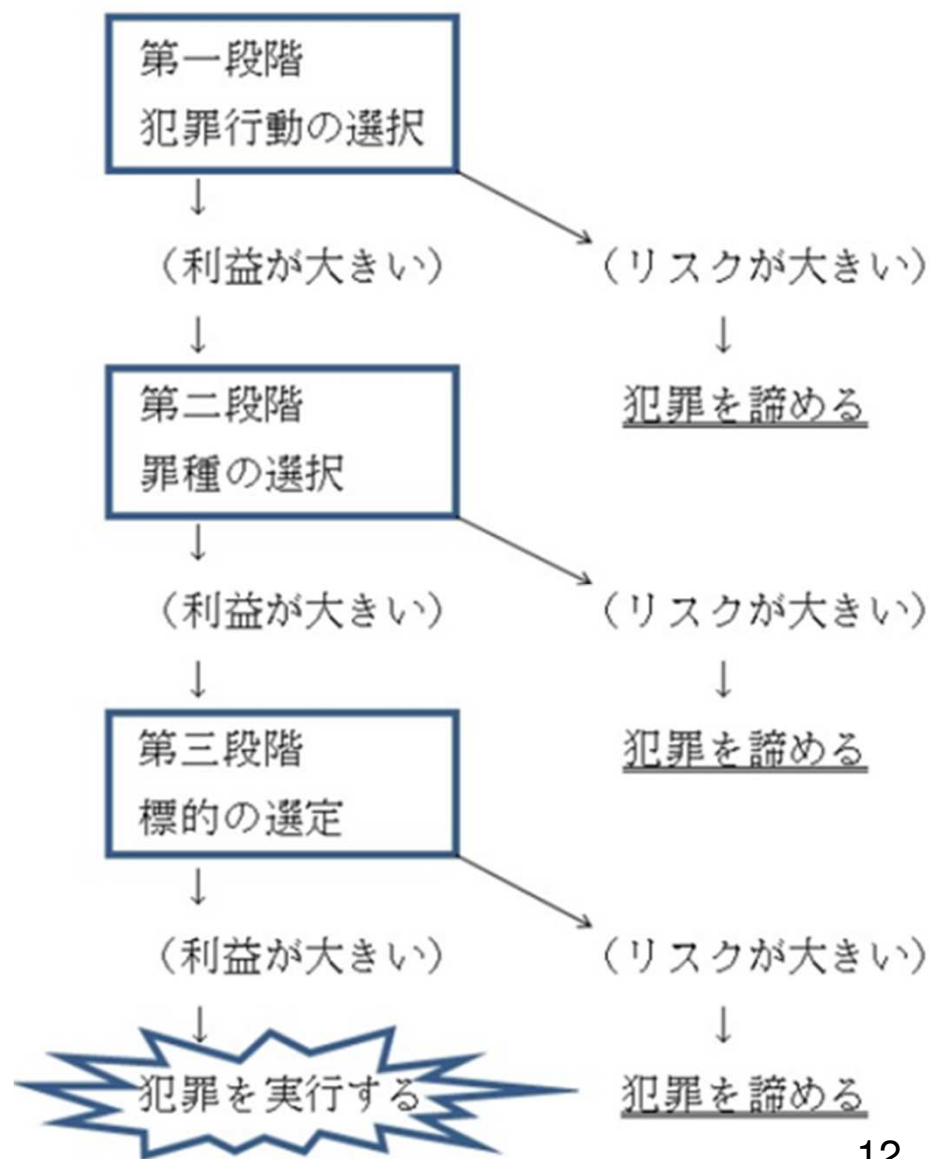
合理的選択理論

犯罪発生メカニズム
(賢い犯罪者ほど、冷静に
考え・判断している)



合理的選択理論

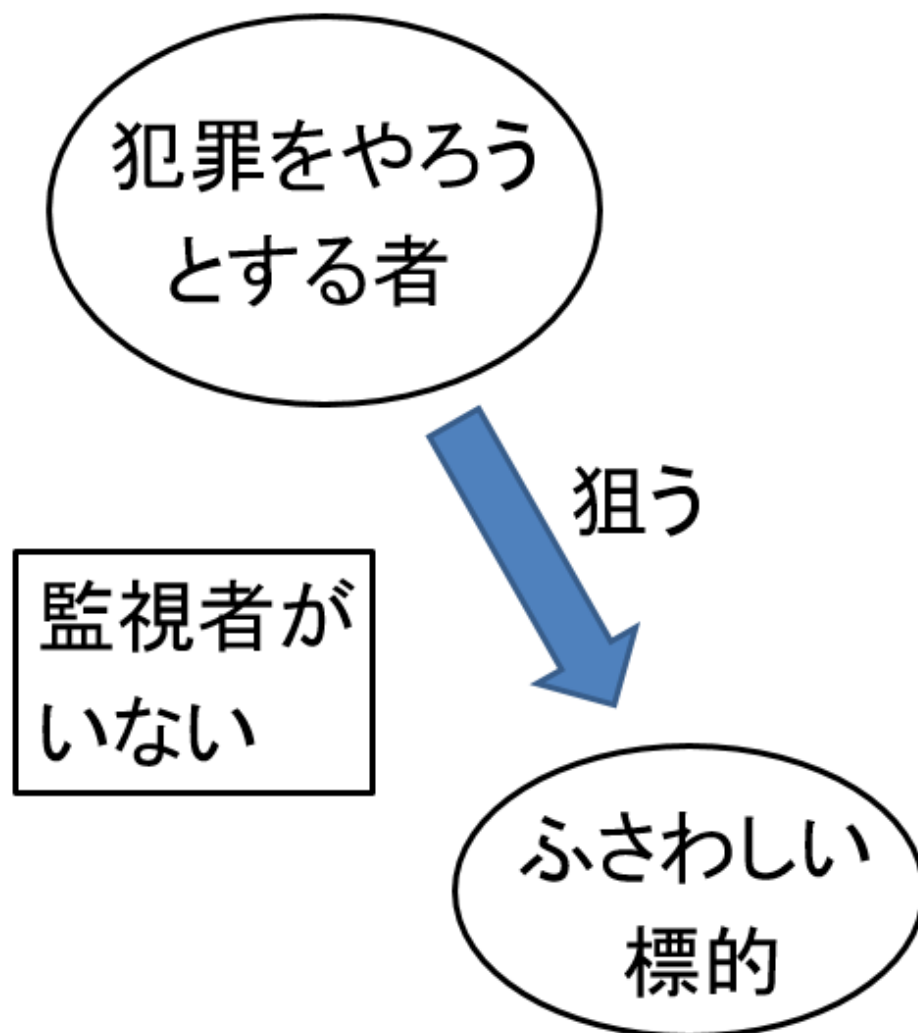
→人は犯罪にかかるコ
ストやリスクと、犯罪に
よって得られる利益を考
えて犯行に及ぶことを説
明するための理論





SENDAI UNIV.

日常活動理論



日常活動理論

→犯罪の原因と防止を日常生活の環境から考える理論

- 「犯罪をやろうとする者」
- 「ふさわしい標的」
- 「監視者がいない」

.....という3つの条件が一定の時間と空間に存在すると犯罪が発生する



SENDAI UNIV.

CPTED(防犯環境設計)

CPTED(セプテッド:防犯環境設計)

→防犯性の高い建築やまちづくりのための理論
(Crime Prevention Trough Environmental Design)

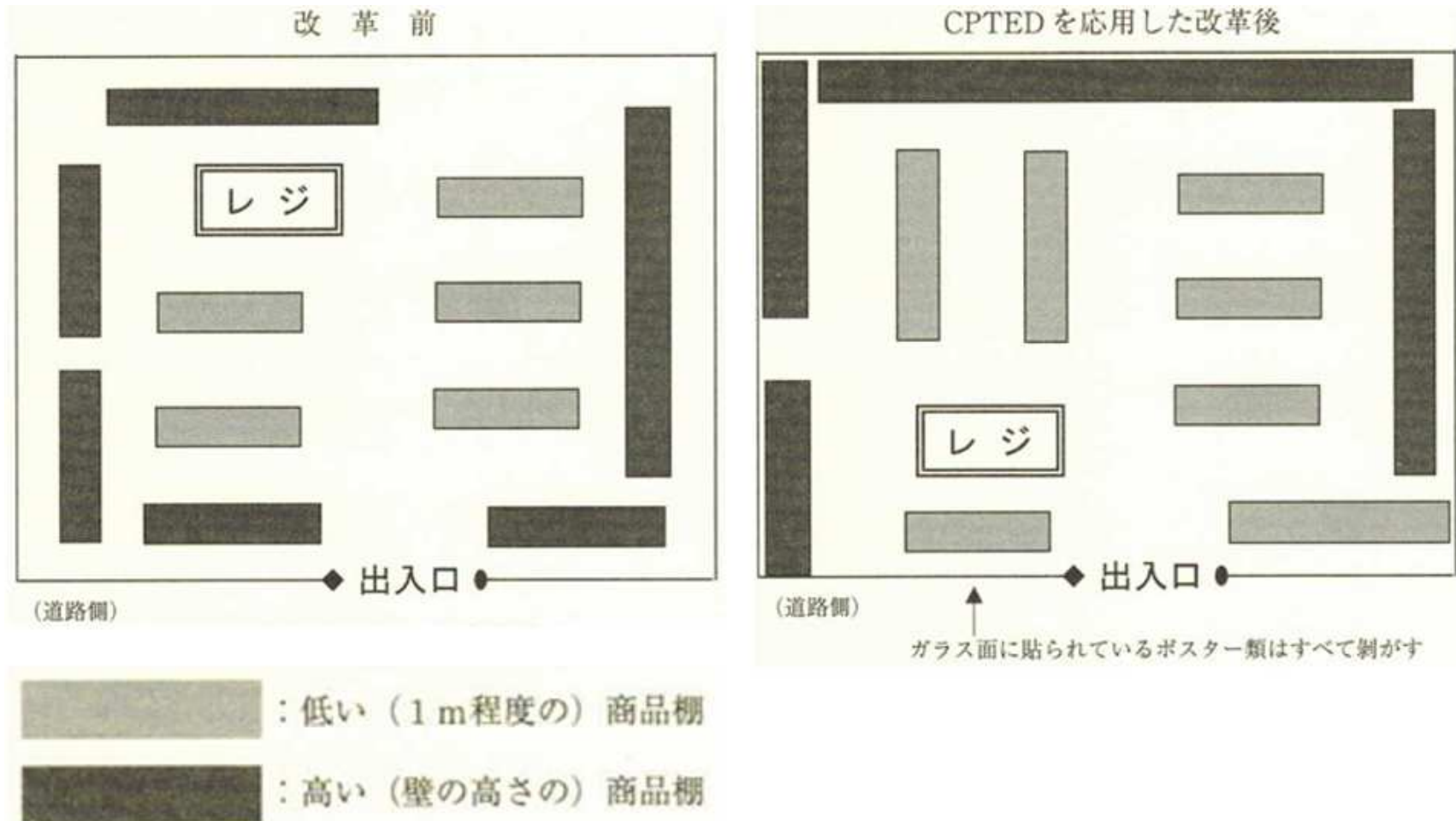
次の4つが基本原則

1. 監視性の確保:見通しをよくする
2. 領域性の確保:侵入されにくくする
3. 接近の制御:犯罪者を近づけない
4. 抵抗性の確保:被害対象者や対象物の強化



SENDAI UNIV.

CPTEDに基づく店舗づくりの例

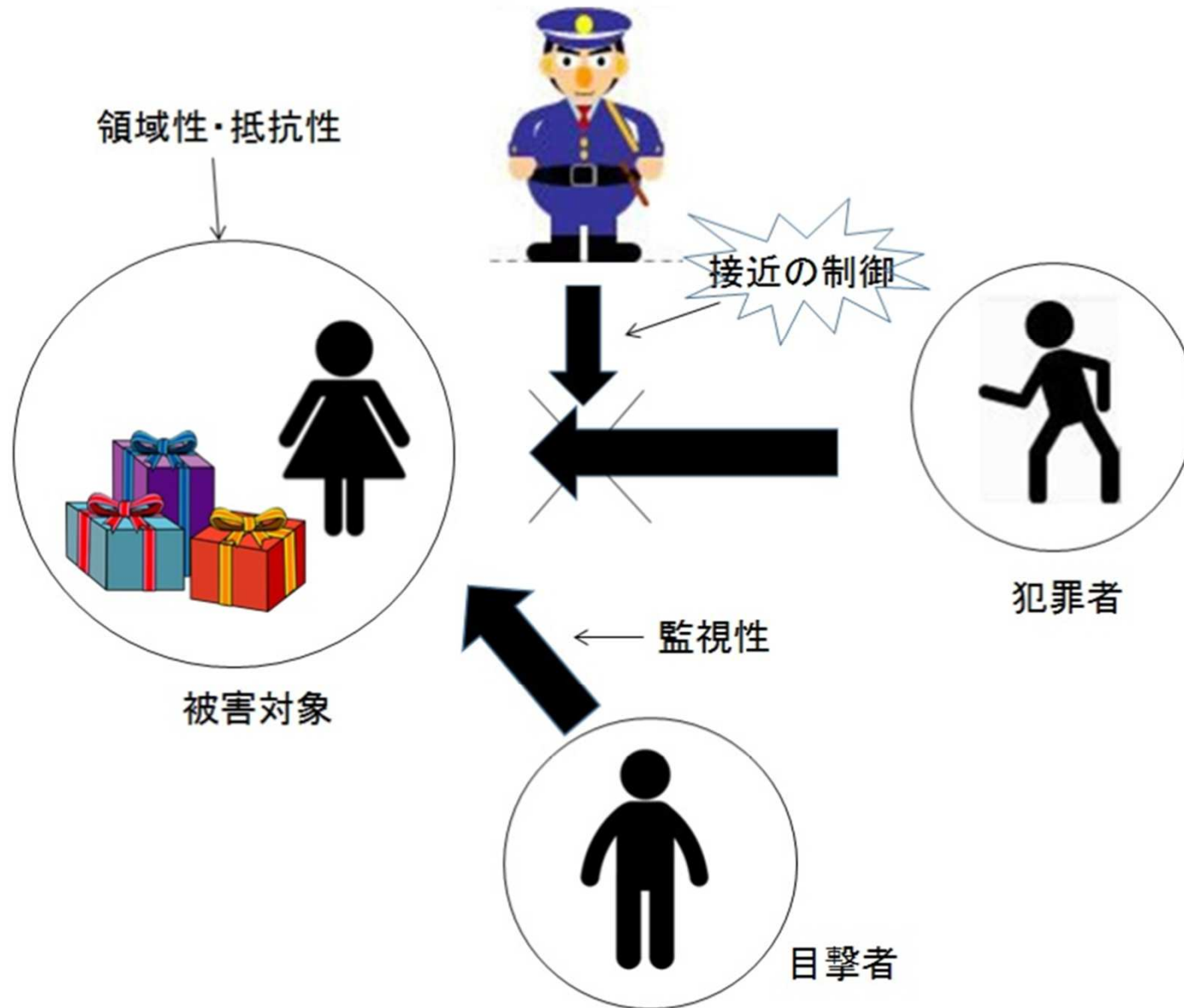


（出典）谷岡一郎『こうすれば犯罪は防げる—環境犯罪学入門』新潮選書、2004年



SENDAI UNIV.

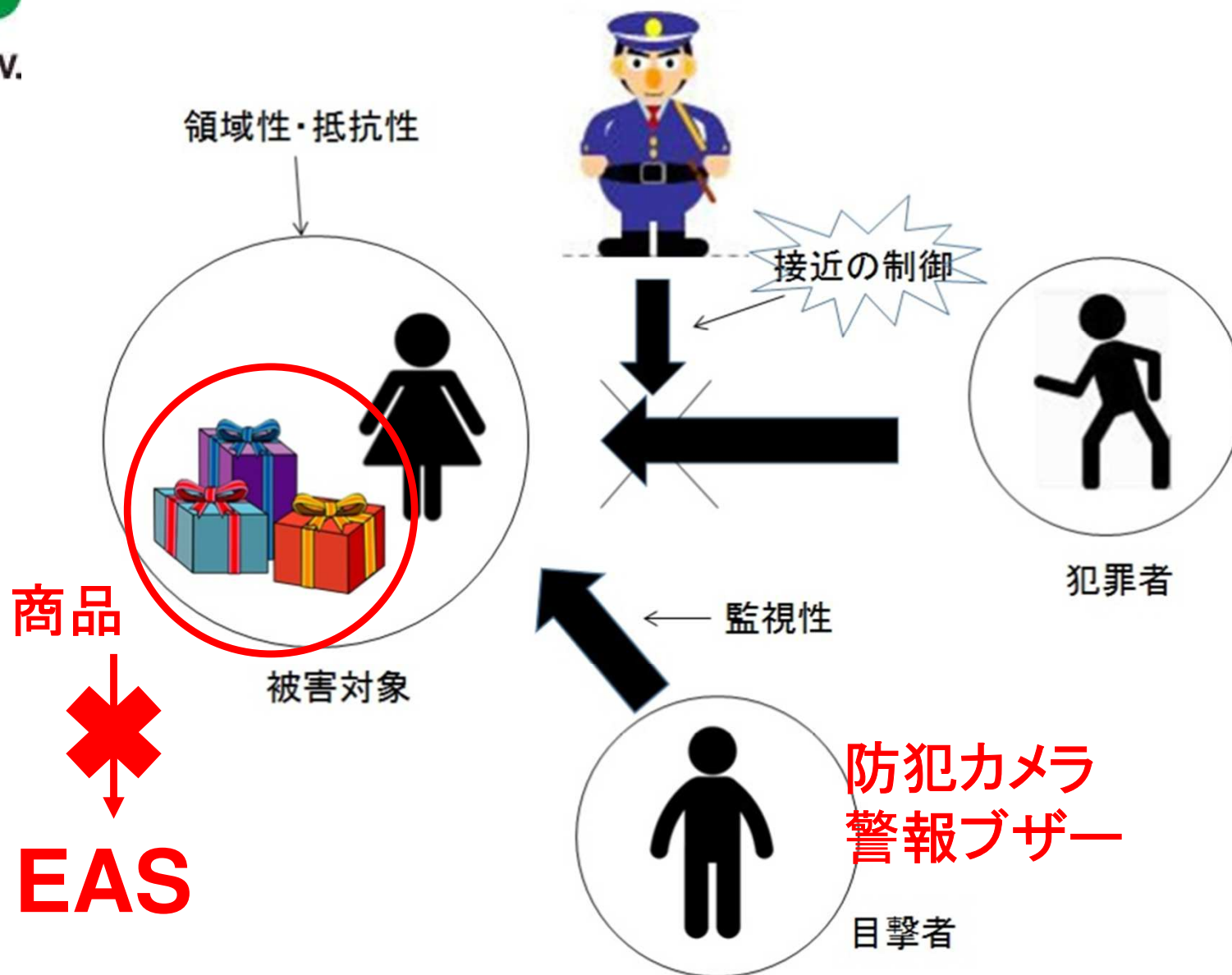
防犯の基礎理論を図式化





SENDAI UNIV.

防犯システムと人的警備の融合





SENDAI UNIV.

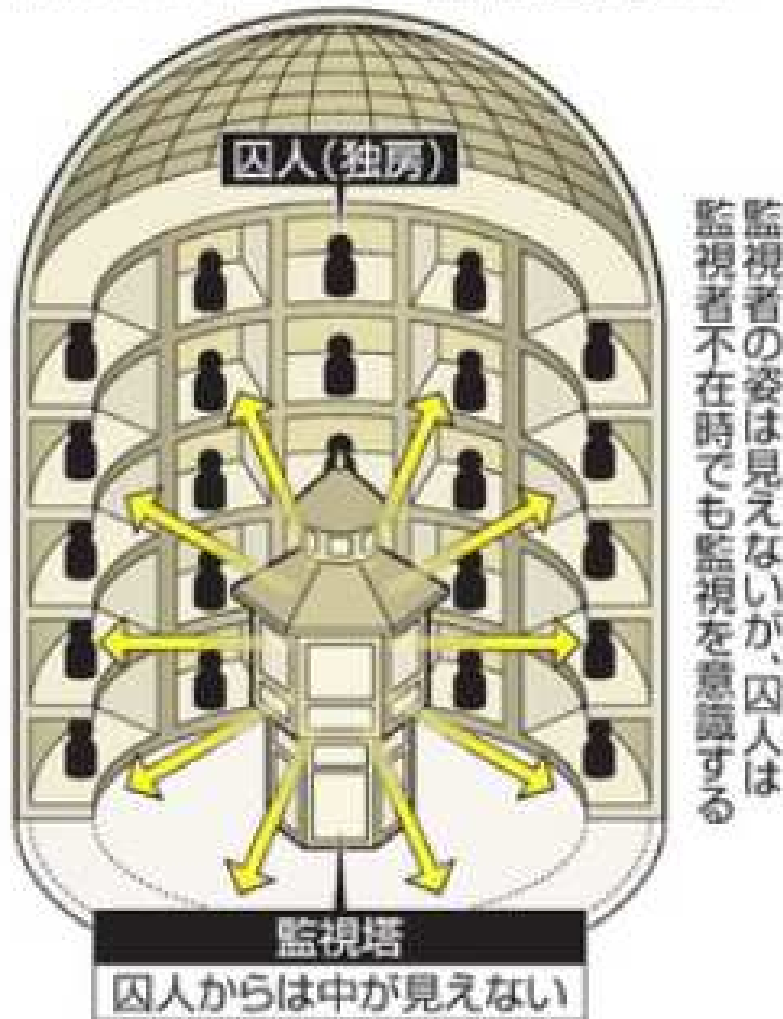
3. 「防犯システムと人的警備 の融合」の理論化



SENDAI UNIV.

保安員の姿が「見えない」ことの意義

「パノプティコン（一望監視施設）」とは



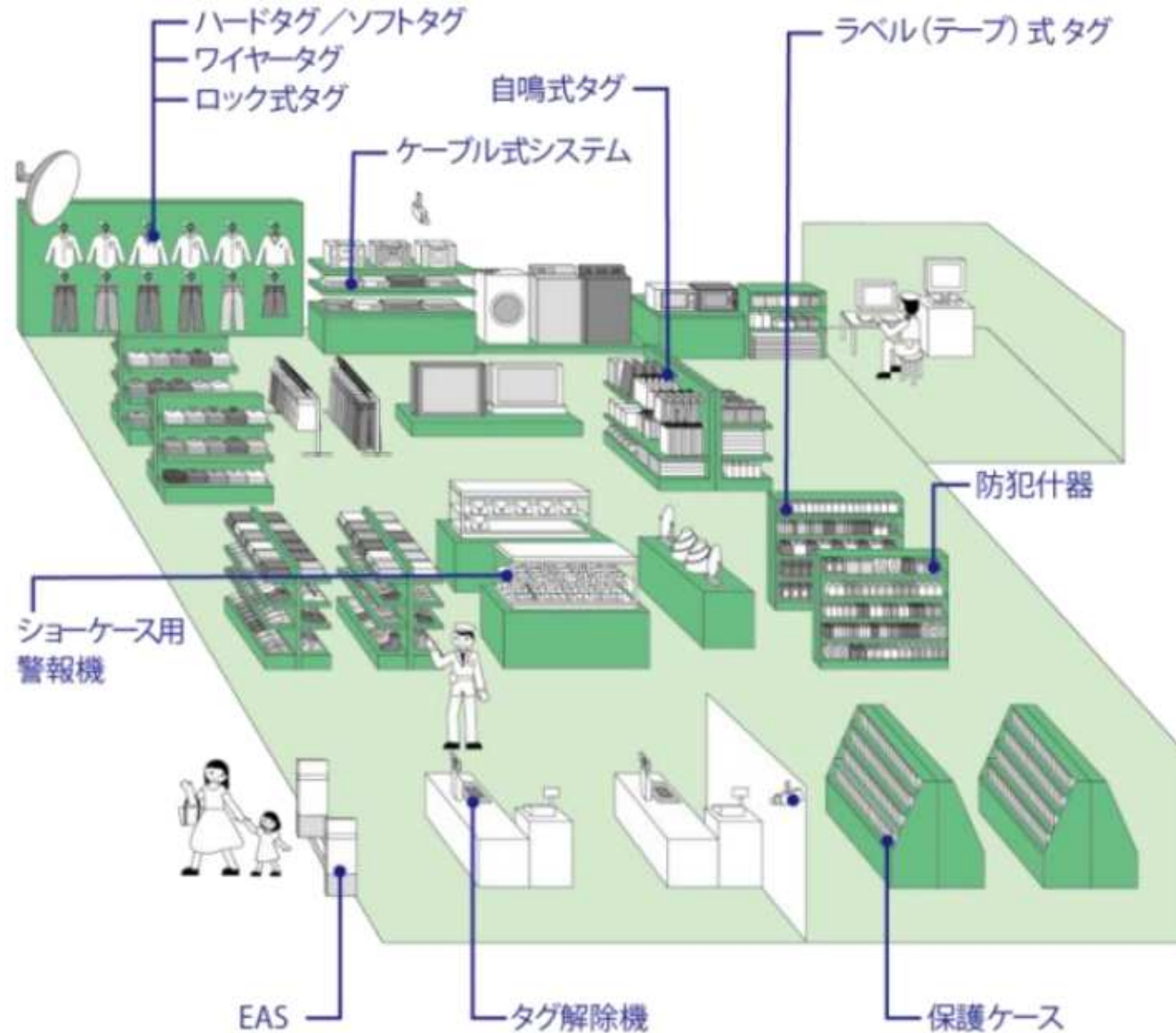
- ウェアラブルカメラの装着は制服警備員
- 私服警備員（保安員）は密かに現認する
→「見られているかもしれない」という意識の醸成に資する
⇒ **パノプティコン**と同じ

（出典）朝日新聞デジタル2017年
4月18日5時00分配信



SENDAI UNIV.

EAS(タグを含む)は存在が可視化されている





SENDAI UNIV.

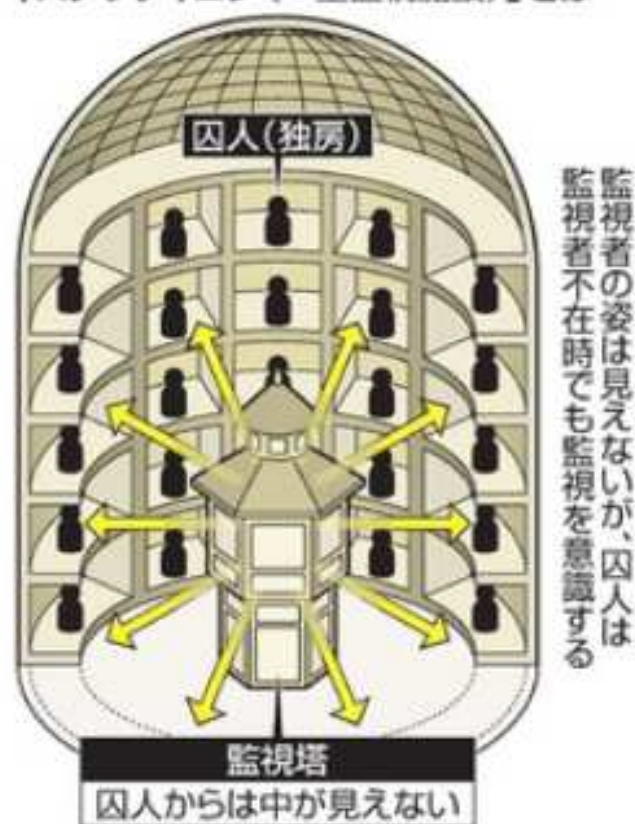
EASと保安員の役割分担

EAS＝「見せる警備」

保安員＝「パノプティコン」



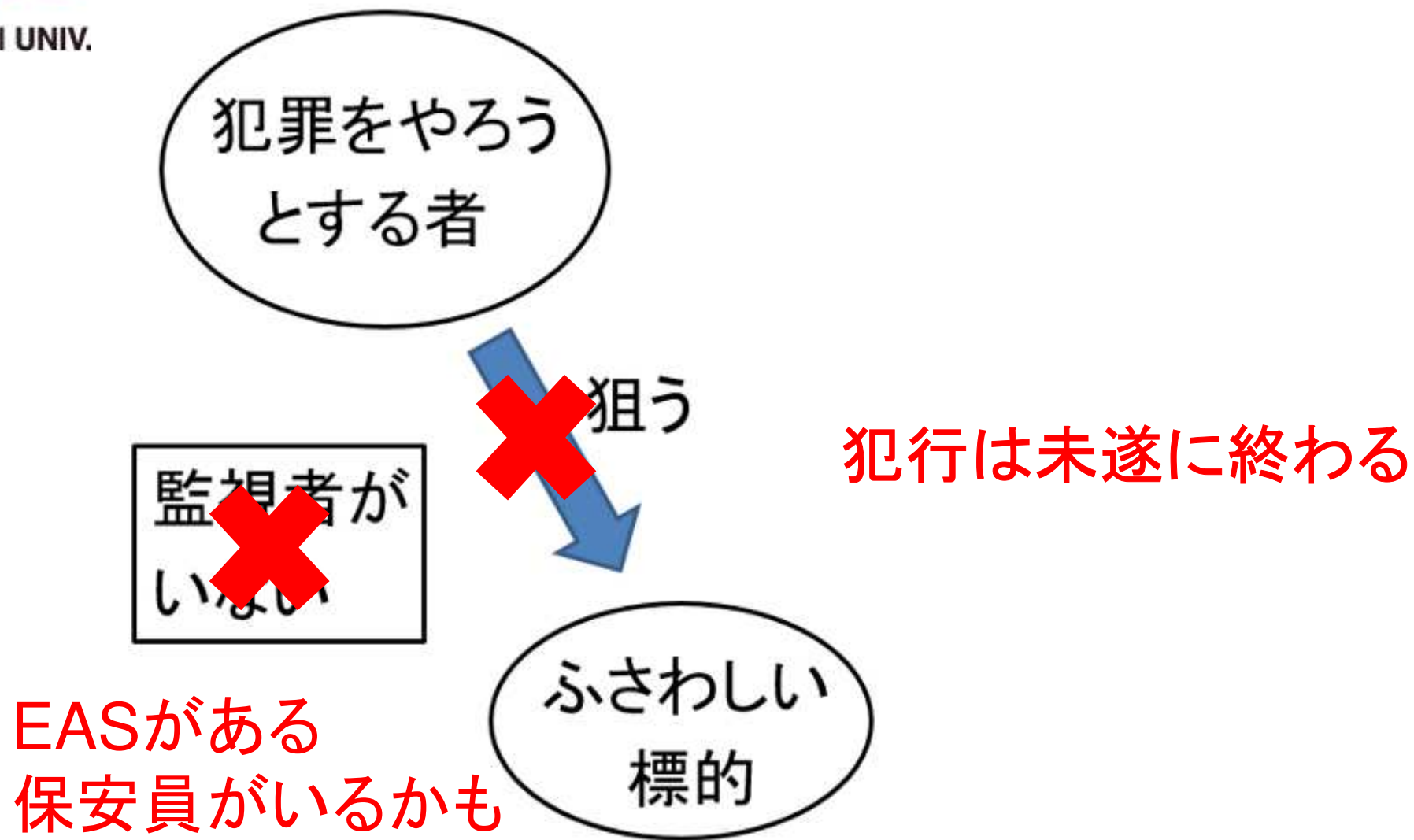
「パノプティコン（一望監視施設）」とは





SENDAI UNIV.

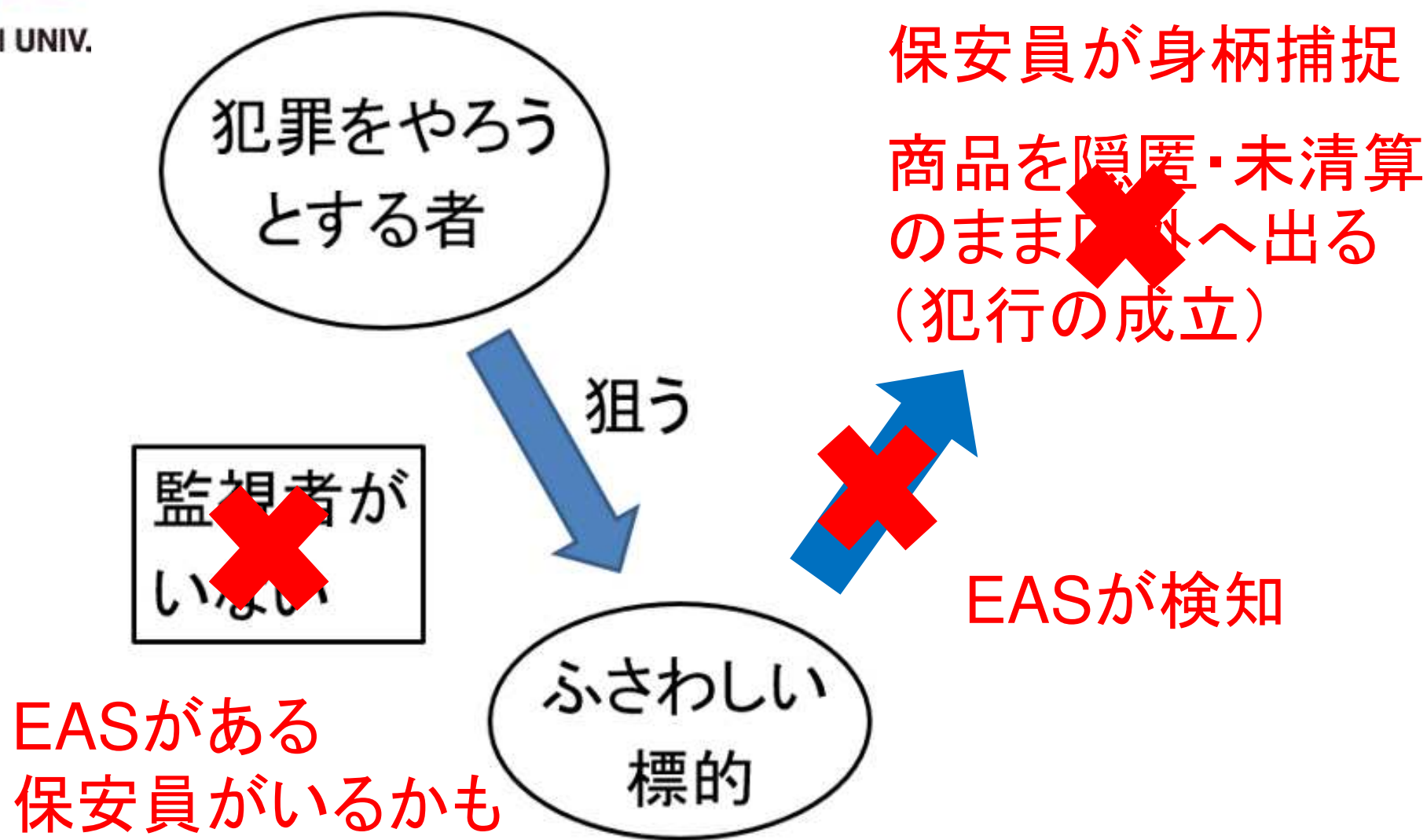
日常活動理論の応用





SENDAI UNIV.

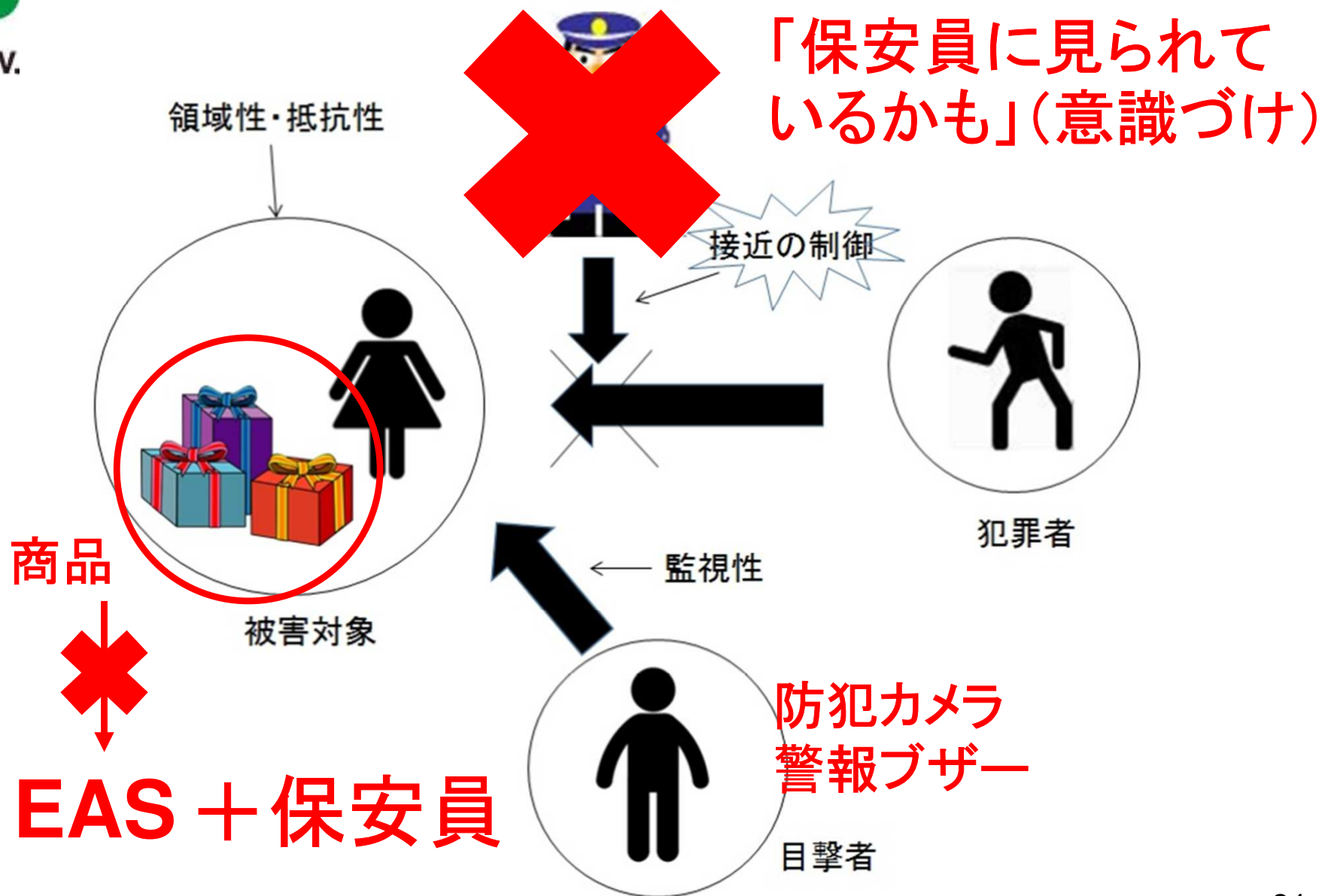
日常活動理論の応用





SENDAI UNIV.

防犯システムと人的警備の融合





SENDAI UNIV.

4. 人材育成の方向性



SENDAI UNIV.

「暗黙知」としての技術～保安員～

「暗黙知」とは.....

科学哲学者マイケル・ポランニーが提唱した概念

「私たちは知っている顔を百万人の中からも見分けることができるが、自分がどのように見分けるのか分からない」⇒**認知の多くは言葉に置き換えられない**

保安員は来店者の挙動で万引きの企図を察知したり、常習者の顔を記憶してマークし、現行犯で捕捉する
⇒**これらの知はポランニーの「暗黙知」に該当する**



SENDAI UNIV.

「暗黙知」としての技術～EAS技術員～

ポランニーによれば……

「機械は作動原理によって規定されているが、作動原理は機械の故障や破損を説明できない。なぜなら、機械の作動原理は人為的な形成作用によって物質内に形象化されるものである、自然の法則によっては定まらない一連の条件が存在する」

⇒EASの開発・障害対応には、人為的な要素が含まれており、「設計」だけでなく「**設定**」が重要になる
例) 防犯タグ通過時の感度調整など



SEND

人材育成

	ジョブ型雇用 (欧米型)	パートナーシップ型雇用 (日本型)
職務内容	特定の職務に限定されている	特定の職務に限定せず、 配置転換する
給与体系	職務の市場価値 や成果に応じて 支払われる	学歴や勤続年数に応じて 支払われる
人材の流動性	高い	低い
採用形態	経験重視の採用	新卒一括採用



SENDAI UNIV.

万引き対策の人材育成

《保安員の場合》

- 被疑者を見分ける能力
- 適正な現認と捕捉の技術
- 捕捉数やロス低減率による評価



《EAS技術員の場合》

- 故障や破損の原因を探る能力
- 的確な修理と修正の技術
- 店舗の形態に合わせた適正な設定



いずれも「ジョブ型雇用」が相応しい



SENDAI UNIV.

人材育成はどこまで可能か

- 雇用主（警備業者・EASメーカー）が「ジョブ型雇用が相応しい」と考えたとしても……



- ユーザー側が「メンバーシップ型雇用」を前提とする考え方であれば、職務内容は正当に評価されない可能性がある



人材育成の限界⇒実効性の低い万引き対策



SENDAI UNIV.

日本で「ジョブ型雇用」は定着するか？

主要企業のジョブ型雇用導入状況（計画含む）

日立製作所	22年7月にも国内一般社員約2万人に拡大。管理職は21年春に導入
KDDI	22年4月、非管理職の一般社員に拡大。管理職は21年4月に導入
三菱ケミカル	21年4月までに一般社員含め全社員に導入
資生堂	21年1月、生産技術などを除く総合職の一般社員に拡大。管理職は20年から導入
NTT	21年10月から全管理職に導入
ブリヂストン	23年までに課長級以上の全管理職に導入
SOMPOホールディングス	22年4月までに課長級以上の全管理職に適用

出典：日本経済新聞2022年1月10日



SENDAI UNIV.

そもそも「ジョブ型雇用」でいいのか？

- 保安員には警備業務検定などの資格による評価基準がない

⇒ 数字（捕捉数やロス低減率）に着目することはできるが、数字で測れない暗黙知（技術や能力）はどうするのか？

- EAS技術員の職務をどこまで細分化するか
⇒ 製造／維持・管理／障害対応...など

これらの課題にどう向き合うか



SENDAI UNIV.

5. まとめと今後の課題



SENDAI UNIV.

特殊性の高い「万引き対策」の職務

- 施設警備とは異なる「警戒線」と「防犯理論」の組み合わせが必要
- むしろ万引き対策から新たな防犯理論を導き出すことも可能(あくまで学者目線だが...)
- 機器の性能だけではなく、人的な「暗黙知」の要素が実効性を高める
- 「ジョブ型雇用」による人材育成の長短と、その実効性を検証・評価する視点が必要



SENDAI UNIV.

ご清聴ありがとうございました